

# JARAフォーラム2024

## バーチャルスポーツ等に関する 国際的な動向について

---

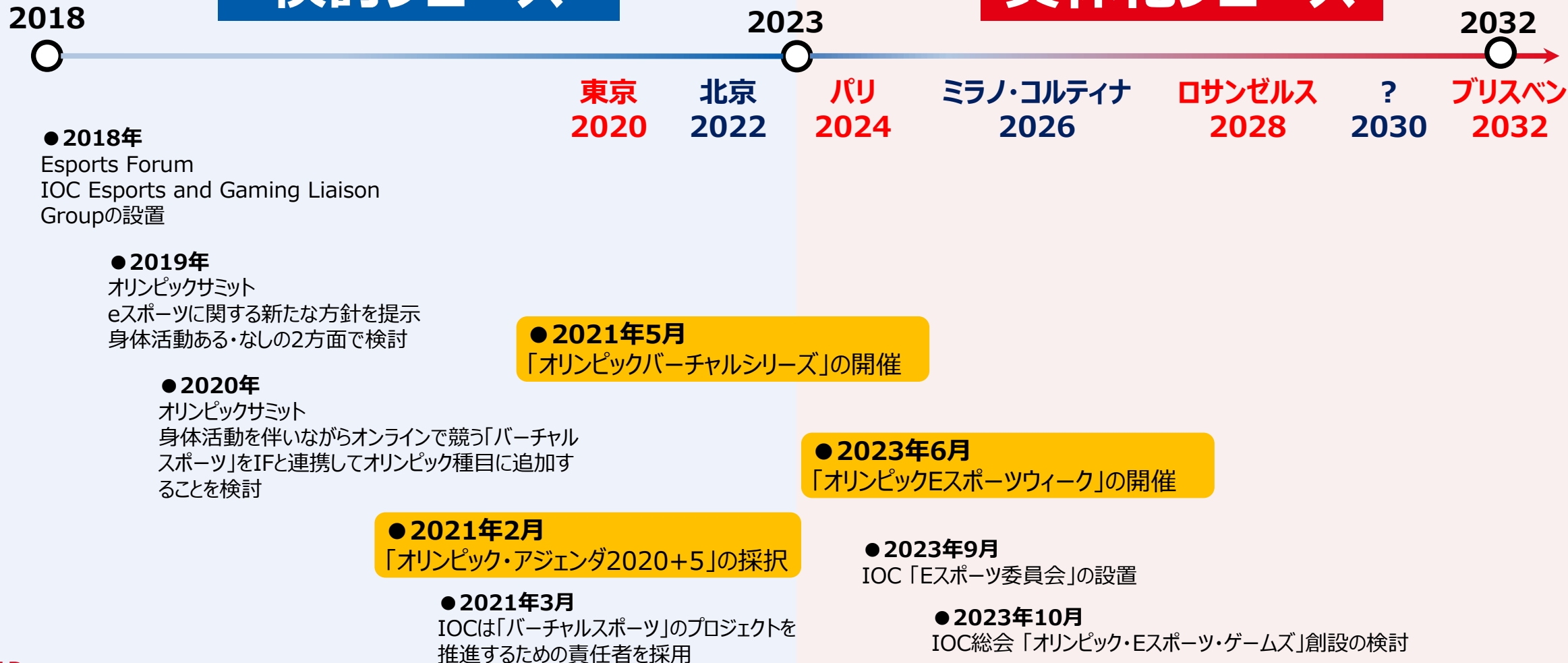
2024.03.20

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
ハイパフォーマンススポーツセンター  
国際情報戦略部事業企画推進課  
前任研究員 坂田 博史

# バーチャルスポーツ等の国際潮流と動向

## 検討フェーズ

## 具体化フェーズ



# オリンピック・アジェンダ2020+5

※参考和訳



国際オリンピック委員会（IOC）による、今後のオリンピック改革指針「アジェンダ2020+5」の提言9でバーチャルスポーツへの取組を明言

## 提言9

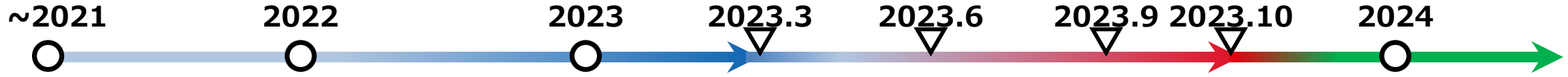
### "バーチャルスポーツの発展を促進し、ゲームコミュニティとの繋がりを深める"

- ◆ “バーチャルスポーツ”は2つのタイプがあり、“ビデオゲーム”とも区別をする必要がある。“バーチャルスポーツ”はサイクリングなど身体運動を伴うタイプと、サッカーゲームのように、ゲーム機でスポーツをプレイする**身体運動を伴わないタイプ**がある。“ビデオゲーム”は「リーグ・オブ・レジェンド」のような**対戦形式のゲーム**と「スーパーマリオ」のような**カジュアルなゲーム**がある。
- ◆ 各国際競技連盟（IF）が独自の規定や戦略の中で、バーチャルスポーツを**種別として確立**できるよう、役割や責任を強化する。
- ◆ IOCのデジタルエンゲージメント戦略の一部として、バーチャルシミュレーションスポーツを通し、**独自のオリンピック体験/価値**を提供する。
- ◆ 各IFと連携し、身体活動の伴うバーチャルスポーツを**オリンピックプログラムに加える事**を検討する。 （一例）

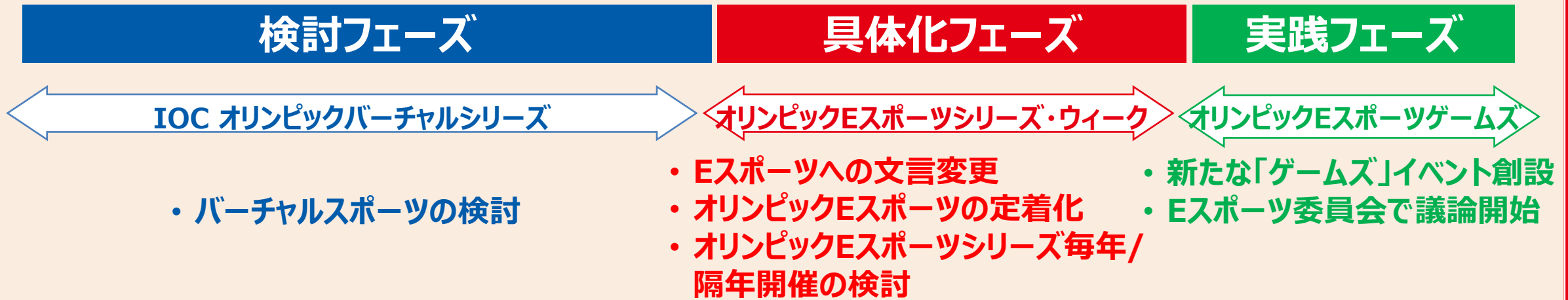
【出典】

<https://stillmedab.olympic.org/media/Document%20Library/OlympicOrg/IOC/What-We-Do/Olympic-agenda/Olympic-Agenda-2020-5-15-recommendations.pdf>

# バーチャルスポーツ等の国内外の動向



## IOCの動向



## 国内の動向

**2016**  
オンラインゲーム・eスポーツ  
議員連盟発足

**2022.11/22**  
自民党スポーツ立国調査会  
「バーチャルスポーツ推進PT」  
を設置

**2023.1**  
HSPC内に「バーチャルスポーツ研究室」  
の設置

**2023.5**  
自民党スポーツ立国調査会  
「バーチャルスポーツ推進PT」提言

**2023.6**  
骨太方針2023

# ローイング

## オリンピックバーチャルシリーズ2021



## オリンピックEスポーツウィーク2023





# JSC初の国際競技連盟との連携協定

JAPAN SPORT  
COUNCIL  
日本スポーツ振興センター

HP JAPAN HIGH  
SC PERFORMANCE  
SPORT CENTER

## NEWS RELEASE

令和 5 年 11 月 15 日  
独立行政法人日本スポーツ振興センター  
広報室

### JSC 初の国際競技連盟との連携協定 ワールドローイング（旧名：国際ボート連盟）と バーチャルスポーツの国際共同研究を双方で推進

2023 年 11 月 14 日、スイス・ローザンヌにて、日本スポーツ振興センター（理事長：戸立訓、以下「JSC」）は、ローイングの国際統括団体であるワールドローイング（会長：ジャン・クリストフ・ロラン）と、バーチャルスポーツに関する国際共同研究プロジェクトを目的とした連携協定覚書を締結しました。

※バーチャルスポーツは、国際オリンピック委員会（IOC: INTERNATIONAL OLYMPIC COMMITTEE）がオリンピック・アジェンダ 2020+5 で示したように、身体活動を伴うスポーツと身体活動を伴わないスポーツのバーチャルな形態と定義されています。

近年バーチャルスポーツを取り巻く環境は著しく進展しており、社会の様々な価値観に影響を与える非常に大きな存在へと成長を続けています。こうしたバーチャルスポーツの動向については、スポーツ界に大きなインパクトを与える可能性が高く、国際スポーツ界では、現在、バーチャルスポーツや E スポーツとの連携が重視されています。

直近では今年 6 月にシンガポールで開催されたオリンピック E スポーツウィークでは、インドアローイングが世界最高水準のバーチャルスポーツの一つとして紹介されました。それらの成功を受けて、IOC に E スポーツ委員会が設置され、オリンピック E スポーツゲームズの創設を検討すると発表しました。

このような国際潮流を踏まえ、JSC とワールドローイングは、その先導事例として、また東京 2020 大会のレガシーとして、これまでの国際ネットワークを維持、強化することで、スポーツのさらなる発展に向けたバーチャルスポーツ分野に関連する国際共同研究を双方で推進することを確認しました。



左より、JSC 理事長 戸立訓、ワールドローイング会長  
ジャン・クリストフ・ロラン



バーチャルローイングの様子  
次ページあり

■ 日本スポーツ振興センターホームページ  
<https://www.jpnsport.go.jp/>

■ ハイパフォーマンススポーツセンターホームページ  
<https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/>

JAPAN SPORT  
COUNCIL  
日本スポーツ振興センター

HP JAPAN HIGH  
SC PERFORMANCE  
SPORT CENTER

#### 協力可能な分野（案）

- ① 両機関の代表者による交流プログラムや訪問
- ② 国際共同研究
- ③ 国際会議、セミナー、ワークショップ等での事例研究発表
- ④ 論文・記事掲載の発表

調印式は、ワールドローイング会長のジャン・クリストフ・ロラン氏、事務総長のヴァンサン・ガイヤール氏、理事の細淵雅邦氏、JSC 戸立理事長、久木留理事らが列席する中で実施しました。

#### ●JSC 戸立理事長コメント

JSC として初めての国際競技連盟との連携・協力に関する協定締結となり大変嬉しく思います。特に、リアルとバーチャルの融合の可能性が高く評価されているワールドローイングとの国際共同研究プロジェクトに胸を膨らませています。この連携協定の枠組みを通して、JSC、ワールドローイング双方の有するリソースを活かし、バーチャルスポーツ分野の連携領域・活動の大きな成果を期待しています。また、バーチャルスポーツ分野に関連する国際共同研究を推進し、それらの成果を競技力向上のみならずライフパフォーマンス向上へ活用・応用することで、スポーツ振興と活力ある国際社会の発展に貢献するために主導的な役割を果たしたいと思っております。

#### ●ワールドローイング ジャン・クリストフ・ロラン会長コメント

私たちは、JSC と共にこの取り組みに着手できることを嬉しく思います。インドアローイングは、世界中のローイング選手をバーチャルにつなぎ、フィットネスとローイング愛好家の多様なコミュニティを育んでいます。世界各地で開催される様々なイベントやローイング選手をつなぐデジタルプラットフォームの開発、そしてゲーミフィケーションの要素は、インドアローイングのコミュニティをさらに成長させます。ワールドローイングは、このような状況において重要な役割を果たすことを約束し、そのために一連の戦略的イニシアチブを展開しています。今回の JSC とのパートナーシップは、その戦略に完全に組み込まれたものであり、インドアローイングの大きな可能性を引き出すことに貢献するものです。

#### 独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）

2003 年に設立された日本のスポーツ振興を担う独立行政法人。ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC: JAPAN HIGH PERFORMANCE SPORT CENTER）は、国立スポーツ科学センター（JISS: JAPAN INSTITUTE OF SPORT SCIENCES）とナショナルトレーニングセンター（NTC: NATIONAL TRAINING CENTER）で構成され、日本オリンピック委員会および日本バラスポーツ協会日本パラリンピック委員会と緊密に連携している。

HPSC は、オリンピック競技とパラリンピック競技の融合を視野に入れ、JISS と NTC が持つスポーツ医・科学、情報等による、研究・支援、高度な科学的トレーニング環境を提供することで、国内外のハイパフォーマンススポーツの向上に貢献することを目的に設立された。さらに、HPSC は、このシステムを通じて、ハイパフォーマンス分野で得られた知見を広く社会に展開することが重要であるとして、「ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスへ」というコンセプトを掲げている。

#### ワールドローイング

ローイング競技の国際統括団体。設立年：1892 年。加盟国・地域：159。ローイング、パラローイング、コースタルローイング、マスターズ、インドアローイングの側面を含む、あらゆる形態のローイング競技に関する規則と規制を定めている。ワールドローイングは、公認競技大会を監督し、加盟団体や地域、イベント主催者に必要な助言と専門知識を提供する。また コーチング教育や、スポーツとその発展に関するその他の事項にも取り組んでいる。

以上



ご清聴ありがとうございました。  
Thank You Very Much

